

市報 やまぐち

2015

9/1

September
No.238

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp



第28回全国健康福祉少年少女大会
ねんりんピックおいでませ!山口2015
平成27年10月17日(土)～20日(火)

特集 助け合い、認め合い、世界を学んだ 世界スカウトジャンボリー
表紙 新山口駅の通路が緑の空間に



助け合い、認め合い、世界を学んだ 世界スカウトジャンボリー

7月28日～8月8日、「第23回世界スカウトジャンボリー」が、阿知須きらら浜を主会場に開催され、世界155の国と地域から、約3万4千人のスカウトが集まりました。スカウトたちは12日間、キャンプ生活の他、県内外に出向いて活動し、スカウト同士だけでなく、地域の方々との交流も深めました。今回の特集では、世界スカウトジャンボリーを振り返ります。
(取材：広報広聴課)

問 スカウトジャンボリー支援室
☎ 083-934-2680

世界スカウトジャンボリー
1920年、イギリスで第1回大会が開催されて以来、4年に1度開催されている世界最大のスカウトの祭典で、直近では2011年にスウェーデンで開催された。国内では、1971年に静岡県で開催されて以来の開催。世界各国から青少年が集まり、キャンプ生活という助け合いが必要な環境で、文化等の違いを超えてお互いを認め合い、貴重な経験を得ていく。

【写真説明】1. 開会式で盛り上がっているスカウト／2. 開会式・閉会式では各国の国旗が集結／3. 書道体験／4. 和太鼓の演奏体験／5. スカウトが生活したキャンプサイト／6. 市の歓迎イベントで、市長らがスカウトに記念品を贈呈／7. 書道体験(秋穂中)／8. 開会式でのアトラクション

スカウト×ジャンボリー会場 スカウトの12日間

スカウトの1日

7月28日(火)、阿知須きらら浜は、スカウトたちが張ったテントで埋め尽くされた。彼らは12日間、仲間とともにキャンプ生活を送った。



朝食と夕食は、配給された食材を使って仲間と調理した。朝は4～5時に起床。昼間は班ごとに分かれ、ピースプログラムとして広島市の平和記念公園等へ訪れた他、地域プログラムとして、県内の学校や施設などを訪れて地元住民と交流したり、本市の文化財が多く集積する香山公園を見学したりするなど、山口市・モノ・文化・歴史を学んだ。プログラムがない時も、他国のスカウトと、自国を象徴するデザインのワッペン

を交換し合ったり、キャンプサイトでその国のあそびを一緒に体験したりと、世界大会ならではの時間を過ごした。

日本の文化を世界のスカウトへ

会場内には、スカウトたちが、世界の文化、自然環境などを学ぶことができる場所があり、それぞれ、カルチャーモジュール、サイエンスモジュールなどと呼ばれる会場に分けられていた。カルチャーモジュールでは、日本の竹馬が大人気だった。アメリカのスカウトは「簡単そうに見えたから挑戦したけど、とても難しい」と苦戦した様子。一方、ノルウェーのスカウトは「フルウエーにも竹馬のような遊び



がある。しかし、乗り方が違って、日本の乗り方は難しい」と文化の違いを体感していた。スカウトに乗り方を教えていた大歳在住の女性は「日本ならではの遊びの楽しさを知ってもらい、自国に持ち帰ってほしい」と、スカウトたちが楽しそうに体験している姿を見て話した。

皇太子さまをはじめ 著名人がスカウトを激励

開会式、アーリーナショー、閉会式には、

数多くの著名人等が参加。開会式では、山口のアイドルグループ「山口活性学園」が、ジャンボリーの大会テーマソングなどを歌ったほか、和太鼓グループによる演奏が行われた。さらにアーリーナショーでは、皇太子さまがご臨席された他、安倍首相や世界スカウトジャンボリーアンバサダーの野口聡一さんのスピーチ、人気アーティストによるパフォーマンスなどが行われ、スカウトたちを激励していた。

12日間の生活で得たもの

長いようであっという間に過ぎた12日間。スカウトたちは何を感し、何を学んだのだろうか。

閉会式の前夜、日本・兵庫連盟の隊が、今大会を振り返っていた。同隊は神戸市、姫路市、たつの市の隊が一つの隊となったもの。「初対面の人もいて初めは不安でいっぱいだったけど、話をしたり、助け合ったりしていくうちに楽しさが増していった」「みんなご飯を作ったのが一番の思い出」などと口々に活動を振り返った。

同隊の小林千乃(ちの)さんに話を聞くと「普段の生活では知っている人ばかりに囲まれているけど、今回は見ず知らずの人、他国



小林千乃さん

の人に囲まれて生活をした。他国の生活や食文化などを、間近で知ることができて新鮮だった。これまで、世界のことには気に留めていなかったけど、世界のことをもっと知りたくなったし、普段の生活でも、もっと視野を広げて生活したいと思った」と話した。さらに「他国のスカウトは、日本のスカウトに比べて、自国のアピールがすごく、誇りに思っていることを歌やダンスで表現する。お互いの国について話をしているうちに、日本にもたくさん自慢できるものがあることに改めて気づき、私も日本人であることが誇らしく思えた。これからも、この気持ちを忘れないようにしたい」と目を輝かせながら話してくれた。期間中は猛暑が続いたが、スカウトたちは暑さに負けじと、仲間と支え合い、時には自分と戦いながら12日間を過ごした。世界スカウトジャンボリーは、スカウトたちの国際感覚を養っただけでなく、彼らの心身を一回りも二回りもたくましくした。

地域プログラム

歴史的建造物に感動

市内で地域プログラムを行った多くのスカウトが訪れた香山公園。瑠璃光寺五重塔が視界に入った瞬間、スカウトたちは感動しながらカメラを向けていた。



アメリカのスカウトは「とても美しい建物だし、歴史を感じる。近代的な道具が無い時代に、どうやってこんな立派なものを建てたのかとても気になる」と興味津々。インドのスカウトは「インドにもお寺はあるが、また違ったすばらしさがある。山口は歴史や文化がたくさんある美しいまち。山口の人はみんな優しいし、とても平和なまちだと思っ

たと、山口の良さも感じてくれていた。スカウトたちは香山公園の他、各地域に分かれて学校などを訪問した。

学生・市民がスカウトと交流

宮野

8月1日(土)、歓迎の横断幕を掲げ、スカウトたちを出迎えた宮野中に、スリランカ、イタリア、台湾、日本のスカウトが訪れた。

歓迎行事の後、グループに分かれて書道と剣道を体験。剣道体験では、初めに宮野中の剣道部が剣道を披露した。最初は笑みを浮かべていたスカウトだったが、剣道ならではの雄叫びを聞き、段々とその迫力に見入っていった。

その後、生徒たちは緊張しながらも、話せる英語とジエスチャーでスカウトたちに素振りの方法を教え、「めんどー」「どつー」というかけ声が体育館に響き渡った。

剣道を体験したイタリアのスカウトは「剣道は初めて見たし初めて体験した。イタリアでは

侍が有名で、まさに侍のようだった。本当に楽しかった」と話した。

最後はスイカ割り体験。ライト! (右) ライト! ヒッ



ト! (叩く)と、英語で指示しながらも、思うように意思疎通ができないこともあり、スカウトも生徒も笑いが絶えることなく賑やかな雰囲気包まれた。

スリランカのスカウトは「生徒たちはとてもやさしかった。スイカもとても甘くておいしい。本当に良い体験ができたし良い思い出になった」と話した。宮野中の生徒は「初めはすごく緊張した。英語は話せないけど、話せる英語とジエスチャーで伝えようと頑張ったら会話ができた。私たちは最終緊張していたけど、スカウトはすぐにフレンドリーに話しかけていて、これも日本と外国の違いなのかなと感じた」と、始まる前の表情とは一変し、充実感溢れた笑顔で話してくれた。

嘉年

8月3日(月)、スカウトたちは嘉年地域で、農業体験や地域の祭事などへの参加を通して、日本文化などについて学んだ。

この日、阿東地域交流センター嘉年分館を訪れたのは、ドイツ、イタリア、フィンランド、アンゴラ、日本から参加したスカウトたち。嘉年小の児童や高校生らと、近くのトマト農家で山口あぶトマトの収穫・試食や、かかし祭りへの参加、嘉年に伝わる十居神楽舞を見学した。神楽舞を見学した後は、神楽太鼓を叩いたり、神楽舞の衣装を神楽保存会の方々に身につけてもらい、児童や地元の方々と



交流を深めていた。

トマトを提供した林トマト園の林謙次さんは「ヨーロッパのトマトに比べ、日本のトマトは甘くてフレッシュなので生で食べられる。世界に日本のトマ



トのおいしさが広まるきっかけになれば」と話してくれた。また、かかし祭りでは、タレントのマツコデラックスを模したかかしに興味

大内

津々なイタリアのスカウトが「いろんなかかしがあってももしろい。でも映画『アナと雪の女王』のかかしが一番好きだ」と、かかし祭りの人気投票に1票入れていた。



8月6日(木)、大内地域交流センターでは、大内幼稚園の園児らがスカウトたちを出迎えた。炎天下にもかかわらず、園児らは元気いっぱい手作り旗を振ってスカウトたちを歓迎した。また、園児らに手を引かれ歓迎を受け、スカウトたちの表情も終始和やかだった。



同センターでは、園児や地域住民が手作りの手裏剣や紙コマをスカウトたちへお土産として手渡し、一緒に遊ぶで交流した他、染付けハンカチや浴衣の着付けの体験プログラムが行われ、浴衣姿の集合写真をプレゼントされたスカウトたちはとても喜んで



【写真説明】 1. かぶと作り(大内中) / 2. 園児らの出迎えに終始笑顔のスカウト(大内地域交流センター) / 3. うちわ作り(小郡南小) / 4. かき氷を食べるスカウトら(大内中) / 5. 華道体験(野田学園高) / 6. 剣道体験後手拭いをプレゼント(宮野中) / 7. スカウトを見送る生徒(宮野中)

湯田

8月3日(月)、湯田地域交流センターに立ち寄ったのは、イギリス、フィンランド、バングラデシュ、日本のスカウト。歓迎のために待っていたマスコットキャラクター「湯田ゆづ子」に、



スカウトが殺到した。キャラクターが人気なのは万国共通のようだが、中には驚いて泣きそうになっていたスカウトもいた。

昼食後、バスで湯田中へ移動。体育館でグループに分かれ、折り紙と書道体験した。

折り紙体験では、生徒と身ぶり手ぶりで話しながら、鶴やカエル、手裏剣などを器用に折りあげていった。

書道体験では好きな文字を選び、半紙で何枚か練習した後、白いうちわや扇子に清書した。体験学習の後、スカウトたちは中学校



から20分かけて、徒歩で湯田温泉の足湯へ移動。炎天下の中の足湯は、ひと味違った経験になっただろう。バングラデシュのスカウトは「かなり熱かったが、とてもクールな経験だった」と冗談を交えて楽しそうに話した。

秋穂

8月6日(木)、秋穂中では生徒全員で、オーストラリア、ノルウェー、台湾、日本のスカウトを出迎えた。体育館で吹奏楽部の演奏による歓迎を受けた後、各教室に分かれて書道を体験。

台湾のスカウトは慣れたもので、達筆な腕前を次々と披露していた。一方、最初は緊張気味だったオーストラリアとノルウェーのスカウトたちも、生徒たちのサポートにより、時間が経つにつれ、めきめきと上達していった。最後は、色紙に練習の成果を清書し、落款を押印。この落款は、生徒がスカウトの名前を聞き、その場で作成したものだ。

ノルウェーのスカウトは「書道は難しかったが、丁寧に教えてくれたので、うまく書けた。とても楽しかった」と話した。

山口県民 × スカウト

やまぐちジャンボリーフェスタ

日本の文化を改めて実感

ジャンボリーの期間中、世界のスカウトたちと県民の皆さんと一緒に楽しめる国際交流イベント「やまぐちジャンボリーフェスタ」が開催された。

やまぐちジャンボリーフェスタには、日本伝統の遊び、文化やスポーツに挑戦できるアクティビティゾーン、



【写真説明】1. 山口市の魅力を紹介するブース／2. ステージイベントで披露された書道パフォーマンス／3. やぐらステージイベント／4. スカウトに折鶴を教えるやまぐち路傍塾

世界各国の料理を堪能できるワールドフードゾーン、国や市町の魅力を紹介するブースや360度スクリーンによるプロジェクションマッピングで山口県の魅力を紹介する魅力発信ゾーンなど、さまざまなゾーンが設けられた。

アクティビティゾーンでは、地域の教育力を高めるボランティア人材バンク「やまぐち路傍塾」が竹細工や折り紙の他、ジャグリング、お手玉、琴の演奏を体験できるブースを出した。

琴の体験では、日本古謡「さくら」を演奏。イギリスのスカウトは「とても難しかった。自分はギターを弾いて



いるけど、それとは違う弾き方だし、音も日本らしさを感じる音でももしろい」と琴の魅力に惹かれていた。

スカウトたちに琴を教えた先生は「みんな興味津々で、頑張って弾いてくれた。あまり英語は話せないけれど、簡単な英語で伝えることができたのでよかった。私たちもいい経験になった」と話した。

魅力発信ゾーンでは、長蛇の列ができていた。吉田松陰、高杉晋作、金子みすゞなど山口県ゆかりの人物や、秋芳洞、岩国錦帯橋、瑠璃光寺五重塔など、山口県の多くの魅力を360度のスクリーンで紹介するアトラクションだ。来場者はその迫力と山口の魅力に見入っていた。

フェスタに遊びに来た小郡在住小学6年生の児童は「いろんな国の人がいておもしろい。いつもこんな雰囲気だったら楽しいの」と話した。

多くの人が訪れたジャンボリーフェスタ。スカウトだけでなく、県民、市民の皆さんも日本の良さを改めて実感し、そして、多くの国の人と交流するなど、いつもと違った雰囲気を楽しんでいる様子だった。



来場者やスカウトをサポート!

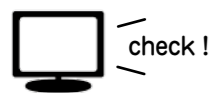
やまぐちジャンボリーフェスタでは、来場者とスカウトがより交流を深められるよう、県内外から1,000人を超える語学ボランティアが活動した他、おもてなし隊として、高校生が会場内のゴミ拾いをしたり、来場者やスカウトたちが困っていたら助けたりするといったボランティア活動も行われました。

海外のコミュニケーションの1つ“ハグ”でも交流しました!



交流するアイテムの1つとして持ち歩いたという“Free Hugs”と書いた紙

おもてなし隊として活動していた山口中央高3年のグループは「色々な国の人と交流できる機会はなかなかない。コミュニケーションがとれたし、想像以上に楽しく活動ができた」といきいきと話してくれました。



世界スカウトジャンボリーについては、広報番組「発見! やまぐちこのまちに愛たい」(C-cable テレビ)でもご紹介します。放送日…9月1日(火)～15日(火)



スカウトジャンボリー支援室 主幹 安永卓夫

世界スカウトジャンボリーは、約3万4千人のスカウトが参加し、その8割が海外からの参加者という、市内ではこれまでに例のない国際的な行事でした。

交流事業で市内を訪問したスカウトたちだけでなく、スタッフとして来日したスカウトの指導者たちが、休みの日には市内のさまざまな場所で観光やショッピングを楽しんでいたのも、彼らの姿を目にされた方も多いと思います。スカウトに声を掛けたり掛けられたりといった交流の輪も広がっていたと伺っています。

この世界スカウトジャンボリーは、市民の皆さん、特にスカウトたちと交流を行った子どもたちにとって、異なる文化に触れ、世界に目を向ける貴重な体験となったのではないのでしょうか。

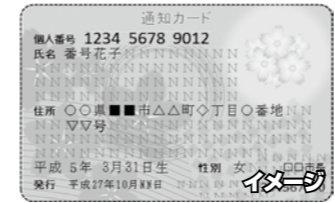
マイナンバーはじまります

マイナンバーについて、3回シリーズでお伝えします

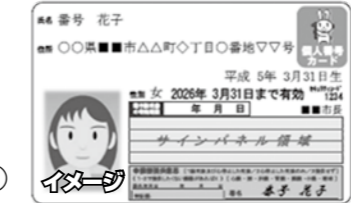
問 マイナンバー推進室 ☎ 083-934-2992

マイナンバーのカードは2種類あります

- 1. 通知カード（紙製）**
皆さんの個人番号が入った通知カードが、10月からご自宅に簡易書留で郵送されます。
- 2. 個人番号カード（プラスチック製）** ※交付開始は平成28年1月以降
本人確認のための**身分証明書として利用**できるほか、カードのICチップに搭載された電子証明書等を用いて、e-Tax（国税電子申告・納税システム）など各種サービスも使用することができます。このカードは**無料**ですが、**申請が必要**となります。



（表面）



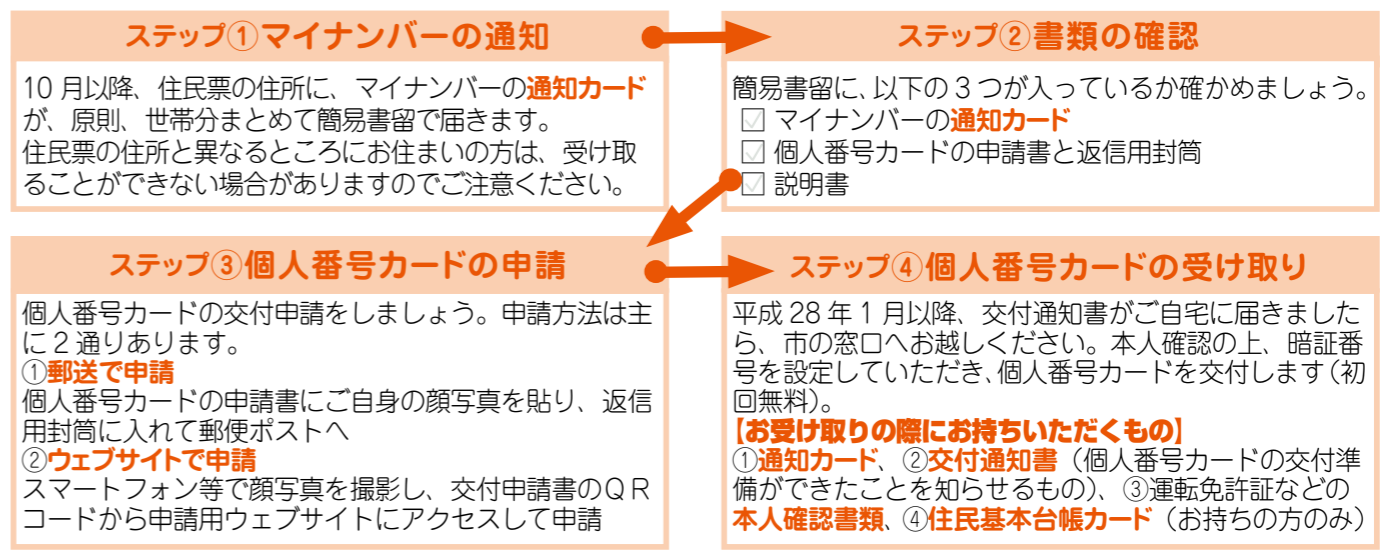
イメージ



イメージ

（裏面）

マイナンバーの通知から個人番号カードが交付されるまで



重要 通知カードを確実に受け取りいただくためのお願い 問 市民課 ☎ 083-934-2771

住民票の住所と異なるお住まいの方は、住所変更の届出をお願いします。やむを得ない事情（長期間の入院・入所が見込まれる方、東日本大震災による被災者、DV等被害者の方など）により住民票を移すことができない場合は、現在お住まいの場所（居所）をご登録いただければ、そこに通知カードを送付することも可能です。詳しくは、住民票のある市区町村にお問い合わせください。
【登録期間】 9月25日（金）まで
【登録方法】 「通知カードの送付先に係る居所登録申請書」を入手し、必要事項を記入の上、住民票のある住所地の市区町村に持参または郵送。（登録理由により別に証明書類等が必要となります）

マイナンバーは生涯にわたって使うものです 住所が変わっても、マイナンバーは変わりませんので、大切にしてください

詳しく知りたい方は
■コールセンター ※通話料がかかります
9時30分～17時30分（土・日・祝日・年末年始を除く）
■ウェブサイト（内閣官房）
<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>
マイナンバー
0570-20-0178
マイナンバー 検索

国勢調査 2015

今回はインターネットでも回答できます 国勢調査を行います

問 国勢調査山口市実施本部 山口総合支所 ☎ 083・934・2748
小郡総合支所 ☎ 083・976・8069

今回の国勢調査では、インターネットでも回答できます。先にインターネットでの回答を受け付け、インターネットで回答のなかった世帯には、紙の調査票を配布して調査を行います。なお、インターネットを使わない方でもこれまで通り調査票により回答できます。



対象

平成27年10月1日現在、日本に住んでいる全ての人がおよび世帯

目的

人口世帯の実態を把握し、少子高齢化社会における日本の未来を描く上で欠くことのできないデータを得るために実施します。

調査方法

インターネットまたは調査票に必要事項を記入の上回答してください。調査票により回答される方は別途提出が必要です。

提出方法

- 調査票により提出される場合は、次のいずれかの方法により提出してください。
- 10月1日以降に調査員が伺うので、その際お渡しください。
 - 郵送提出用封筒で直接郵送（切手不要）

調査の流れ

- 9月上旬
インターネット回答に必要なIDとパスワードの配布
- 9月10日から20日まで
インターネットによる回答
- 9月下旬
調査員の訪問による調査票の配布（インターネットで回答された方には調査票は配布しません。）
- 10月上旬
調査票の提出（右記①②のいずれかの方法によります。）



健康づくりは、みんなが主役！



「眠れていますか？」

健康増進課 ☎ 083-921-2666

朝起きて「だるい」、「疲れが取れない」といった経験はないですか？脳や体の疲れを取るためには、質の高い睡眠をとることが大切です。

県民意識調査（平成26年）では、睡眠による休養がとれている人の割合が本市は県内で最下位でした（1位周防大島町は74・4%、山口市は63・9%、県平均は66・6%）。

睡眠は心身の健康状態に大きな影響を及ぼします。質の高い眠りを得るための3つの習慣をご紹介しますので、実践してみましょ



朝起きる時間はいつも同じに
「眠くなつてから寝床につく」ことがスムーズな眠りにつながります。また寝床に入る時間が遅れてもいつもと同じ時間に起きることでもリズムができます。朝の目覚めも、太陽光を取り入れると良い目覚めになります。カーテンを10cm開けて寝るのも良いでしょう。

適度な運動と
適度な運動をすると、眠りにつきやすくなり、睡眠の途中で目覚めることが減ります。また、朝食をとることは朝の目覚めを促します。



睡眠に適した環境作りを
寝る前にいる部屋が明るすぎたら、睡眠の質が悪くなります。また就寝時には、部屋を自分が不安を感じない程度の暗さにすることが大切です。

■山口市ほっと安心SOSネットワーク連絡会議を開催

認知症等により、高齢者の方が行方不明になった際に地域住民や地元事業者の協力を得て、早期に見つけるための取り組み「山口市ほっと安心SOSネットワーク事業」の開始にあたり、警察署および事業者への事業説明とネットワークの構築を図るため、7月23日、山口総合支所で連絡会議を行いました。

「山口市ほっと安心SOSネットワーク事業」は、行方不明になる可能性のある高齢者等の情報を事前登録し、その方が行方不明になった際に、身体的特徴や服装等の情報を、事前に協力の申し出のあった登録事業者および市民（防災メール登録者）に配信し、情報提供をお願いするものです。

会議で市長は「警察署および事業者の皆様との連携により、認知症による行方不明者の早期発見・早期保護を図る体制を構築できることは、本市のまち



登録証を受け取った事業者と山口警察署長（左端）、山口南警察署長（右端）、市長（中央）

づくりにおいて、大変意義深いものであり、心強く感じている」と述べました。市では、引き続き認知症への理解と本事業の取り組みを啓発しながら、高齢者の皆さんが住み慣れた地域の中で、安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて、市民、地域、事業者等、人々が支えあう、重層的なネットワークの構築に努めていきます。

【登録事業者】

日本郵便株式会社山口中央郵便局、山口合同ガス株式会社山口支店、山口県LPガス協会吉敷支部、日本新聞販売協会山口支部、株式会社秋川牧園、株式会社毎日メディアサービス山口山口支社、株式会社読売センター阿知須、江本燃料店株式会社三宅商事、生活協同組合コープやまぐち、山口市介護サービス提供事業者連絡協議会、第一生命保険株式会社山口営業オフィス、山口県LPガス協会山口支部、中国電力株式会社山口営業所、高山石油ガス、山口ヤクルト販売株式会社、第一環境・山口内山電機共同企業体、山口中央農業協同組合、防府とくち農業協同組合、山口県LPガス協会防府徳地支部（8月1日現在の登録順、敬称略）

☎ 高齢・障がい福祉課 ☎ 083・934・2758

■角一化成株式会社が鑄銭司団地に進出決定

自動車や家電向けのゴム・プラスチック製品の製造を行っている角一化成株式会社（本社大阪府大阪市）が、鑄銭司団地に進出することを決定し、7月27日に山口総合支所で本市と進出協定調印式を行いました。

調印式で市長は「工業用ゴム、プラスチック製品の製造において、デコレーションプラスチック等、常に新し



左から市長、金子県企業立地統括監、小島代表取締役社長

い技術開発に取り組みられている御社に進出をご決断いただき御礼を申し上げます」と述べました。また、角一化成株式会社の小島代表取締役社長は「雇用と市の発展にお役に立てればと考えている」と述べられました。

新事業所は、平成28年2月に操業開始予定で、今後地元を中心に15人が雇用される予定です。

今回の進出で、鑄銭司団地への進出企業は19社、分譲率は約91・5%となります。

☎ 産業立地推進室 ☎ 083・934・2813

■新しくなったちようちんツリーをお披露目

8月6日、恒例の山口七塔ちようちんまつりが開催され、新しいちようちんツリーの点灯式が一の坂川交通交流広場で行われました。

ちようちんツリーは、第31代大内義隆が、フランシスコ・サビエルのキリスト教布教を許し「山口で最初のクリスマスミサがあった」との史実にちなみ、平成11年から始まりました。

新しくなったちようちんツリーは、LEDを使用した、前回よりもコンパクトな高さ8mの自立式のもので、これは「山口七塔ちようちんまつり」と「日本のクリスマスは山口から」を全国にPRするため、輸送や設置が簡単になるように設計されたためです。



点灯されたちようちんツリー

このちようちんツリーは、今後さまざまなイベントで目にするごができるようになるということです。

☎ 山口商工会議所青年部 ☎ 083・935・2300、観光課 ☎ 083・934・2810

■チャレンジデー2015でベストPR賞を受賞

本市が5月27日に参加した、「チャレンジデー2015」において「ベストPR賞」を受賞し、7月27日に山口総合支所で授与式が行われました。



授与式の様子

この賞は、チャレンジデーの取り組みを報道機関から最も多く取り上げられた自治体に贈られるもので、3年連続で本市が特別賞を受賞しました。

イベントを主催する笹川スポーツ財団の渡邊一利専務理事は市長に記念の盾を手渡し、市長は「報道機関をはじめ多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。本年10月に『健康都市宣言』を行うこととしており、スポーツの輪を大きく広げていきたい」と述べました。

市では今後も、各種イベント等を通じて、住民の健康・体力づくりを積極的に推進していきます。

☎ 生涯学習・スポーツ振興課 ☎ 083・934・2912

■大学生を「観光アンバサダー」に委嘱

市では、山口大学の協力により、山口大学経済学部観光政策学科所属の学生9人を「山口市観光アンバサダー（大使）」として委嘱し、7月8日、山口総合支所で委嘱状交付式を開催しました。



交付を受けたアンバサダー

交付式で副市長は、「フレッシュな感性と創造性あふれる発想で、本市の魅力が大いに広めていただき、一人でも多くの方々に『山口のファン』『山口大好き人間』になっていただければ、おもてなしの心をもって頑張ってください」と、激励しました。

今後、首都圏や関西圏を中心に、イベント会場などで本市の観光キャンペーンを実施していただきます。

☎ 観光課 ☎ 083・934・2810

表紙 新山口駅の通路が緑の空間に

☎ ターミナルパーク整備部建設課 ☎ 083-973-2440

表紙の写真は、7月13日（月）、JR新山口駅に建設中の南北自由通路内に制作される垂直庭園に、パトリック・ブラン氏と小郡南小学校3年生92人が植物の植え込みをしたときの様子です。

同庭園は、主に市内で採取された約150種の植物を、山口の里山に見立てて通路の壁面に設置するもので、世界的に著名な植物学者兼芸術家のブラン氏の作品です。壁面は縦約3～5メートル、横約100メートルに渡り、同氏の作品としては国内最大級の大きさで、壁の上部にある吹き抜けやトップライトから日光が差し込む構造になっています。

植え付けに参加した男子児童は「これから植物が成長していくのを楽しみながら通学できる」と目を輝かせていました。またブラン氏は「身近な里山に自生する植物を学べる場にもなる。貴重な自然環境を多くの人に見てもらいたい」と話していました。

新山口駅南北自由通路および橋上駅舎の供用開

始は10月3日（土）からです。垂直庭園の植物が大事にされ、新山口駅の施設が次世代に受け継がれていくことを期待しています。



植え付けが終わった南北自由通路を歩く小郡南小3年生の児童

パトリック・ブラン（フランス・パリ）

植物学者にして、アーティスト。熱帯雨林の下層部に生息する植物の研究が専門で、垂直庭園の概念の発明者。フランス国内の美術館やホテル、橋など数々の作品を手がけている。



山口ゆらめき回廊

9/20(日)・21(月)祝 [時間] 18時30分～21時
[場所] 香山公園(香山町7-1)

約千個のキャンドルが香山公園で幻想的に灯ります。心地よい秋の夜風に吹かれながら、ゆらめく灯りと音楽の調べを、ぜひお楽しみください。

■問い合わせ 大路口ビー ☎083-920-9220

満月の庭のコンサート

[公演時間] 第一部…19時～19時30分 第二部…20時30分～21時

20日 大滝善子(シャンソン) 21日 ★mana★(フラダンス)

同時開催イベント

アートふるりバーナイト

◆日時 20日 18時～21時
◆場所 一の坂川(会場より徒歩10分)
◆内容 手作りの竹灯籠に約千個のキャンドルを点灯

ゆらめきの灯り茶会

◆日時 20日 17時30分～20時
◆場所 香山公園内 露山堂周辺
◆内容 抹茶接待 一席500円(和菓子付き)

大内の香り:遊 asobi

◆日時 両日 18時30分～21時
◆場所 香山公園
◆内容 大内文化に思いを馳せ、調香した2種の香り遊びをご堪能ください。

キャンドル点灯ボランティア募集

◆日時 20日、21日 18時～21時30分 ※単日参加可 ◆集合場所 香山公園入口東屋付近
◆内容 キャンドルの設置・点灯作業 ◆対象 個人・グループいずれも可(中学生以下は保護者同伴)
◆申し込み・問い合わせ 9月19日(土)までに電話・FAX・Eメールのいずれかで、代表者の氏名・電話番号・参加日・参加人数を、大路口ビー ☎083-920-9220 FAX083-920-9221 info@ojilobby.jp

【市報8月15日号でお知らせした休日当番医の変更】 問 保健センター ☎083-921-2666

■9月12日(土) 南部地域の外科系 山手ささきクリニック(小郡下郷) → 林病院(小郡下郷) ☎083-972-0411

お知らせ

山口市公共施設等総合管理計画を策定

本市が所有する学校や道路等の公共施設は、生活基盤、地域コミュニティの拠点等として大きな役割を果たす一方で、今後、一斉に更新時期を迎えます。こうしたことから、更新費用を把握し、財政推計や人口推計をもとに、本市の公共施設等の将来のあるべき姿を検討していくための基本方針として、山口市公共施設等総合管理計画を策定しました。

ウェブサイトのほか、各総合支所市政情報コーナー、各地域交流センターで計画書をご覧ください。

問 行革推進課 ☎083-934-2009

都市計画の案の縦覧

黄金町地区第一種市街地再開発事業および関係する地区計画(黄金町地区地区計画)の都市計画の案の縦覧を行います。縦覧期間中に限り、市へ意見を提出することができます。

■縦覧期間 9月1日(火)～15日(火) ※土・日を除く
■時間 8時30分～17時15分
■所 都計課 ☎083-934-20039

年金相談に関する予約受付の開始

山口年金事務所では、年金請求手続き等に関する窓口相談を行っていただきます。待ち時間短縮のため、予約受付を始めるので、ぜひご利用ください。

■予約開始 9月1日(火)から
■受付時間 平日8時30分～17時15分
■予約相談時間帯 平日8時30分～10時30分、14時～16時30分のどちらか
■所 山口年金事務所お客様相談室(吉敷下東一丁目8-8) ☎083-922-5663

9、10月は動物の飼い方マナーアップ強化期間

近年、犬や猫などのペットの放し飼いや糞尿被害など、飼い主がマナーを守らないことによる苦情やトラブルが

市民の皆さんの意見をお聞かせください

パブリックコメント(意見募集)

市では、重要な計画等を策定する際に、市民の皆さんからの意見を募集しています。また、提出された意見に対し、市の考え方を公表しています。皆さんからの意見をお待ちしています。

山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

「山口に住んでみたい、住み続けたい」と実感できる「定住実現都市」づくりに向けた取り組みの指針となる素案です。
■担当課 企画経営課 ☎083-934-2728 FAX083-934-2642 kikaku@city.yamaguchi.lg.jp

■募集期間 9月1日(火)～30日(水・必着)
■閲覧場所 各総合支所市政情報コーナー、各地域交流センター、またはウェブサイト
■意見提出 持参、郵便、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名、意見を、担当課まで

※意見の内容と検討結果は、個人情報を除き、ウェブサイトで公表します。分かりにくいものや匿名の意見には、市の考え方を示しません。また、個々の意見に直接は回答しません。

《意見提出はウェブサイトからが簡単!》

定型フォームに入力するだけで簡単に提出できます。

↓こちらをクリック ウェブサイトのトップページ左下にある左のバナーをクリックすると、パブリックコメントの閲覧や意見の提出ができます。

増えています。この機会に人と動物が仲良く暮らすため、マナーについても一度確認しておきましょう。

【犬の放し飼いをしない】
放し飼いはとても危険です。また、散歩中は、必ず引き綱をつけましょう。【犬の糞は持ち帰って処理する】
散歩中に糞を放置したままだと、通行人が踏んでしまったり、小さいお子さんが触ったりするなどで病気にかかる恐れもあります。排尿する場所にも気をつけましょう。

【猫は屋内飼養に努める】
屋内飼養することで、糞尿被害等を防ぐだけでなく、猫自身を交通事故や感染症等の危険から守ることもなります。

【野良猫に餌付けしない】
餌を求め、野良猫が増える原因となります。また近所で糞尿被害が広がります。

問 環境衛生課衛生調整担当 ☎083-941-2176、南部衛生担当 ☎083-973-8136

市内の魅力を紹介します。 山口市

国境の合戦! りんご★梨の陣

阿東地区では、秋の行楽シーズンに合わせて、道々の飲食店で、名産のりんごと梨を生かした特別メニューやジュースが楽しめるキャンペーン「国境(くにざかえ)の合戦! りんご★梨の陣」が始まります。また、道の駅願成就温泉とのコラボ企画「りんごの果実湯」も実施します。甘い香りに包まれて癒しのひとときをお楽しみください。

■キャンペーン期間 11月30日(月)まで ※参加店舗や提供メニュー等はウェブサイトでご確認ください。

■「りんごの果実湯」実施日 9月12日(土)、13日(日)、10月10日(土)、11日(日)
■問い合わせ あとうスロー・ツーリズム推進協議会 ☎083-956-2526

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。 宇部市

空の日記念フェスティバル



制服試着体験、アルプホルンやハンドベルの演奏、ヘリによる救助・散水訓練、消防防災ヘリコプター「きらら」展示、空港探検、送迎デッキ無料開放、飲食の出店、縁日コーナーなど、空港や航空機に親しむことができる1日です。ぜひ空港に遊びに来てください。

■日時 10月3日(土) 9時～16時
■場所 山口宇部空港
■問い合わせ 「空の日」実行委員会 ☎0836-21-5841

防府市

毎月第2日曜は「ふみサンデー」



ほうふ花燃ゆ大河ドラマ館をはじめ、ルルサス防府全館で和風のおもてなし。和装でご来館の方にはおトクな特典もあります。

■日時 9月13日(日) 10時～15時
■場所 ルルサス防府わっしょい広場など
■内容 野外演劇「松下村塾 防府校」(2回公演 13時、14時30分) / 幕末貸衣装コーナー / 幕末維新クイズ in ルルサス / お抹茶でおもてなし / 駕籠かき体験(小学生以下) など
■問い合わせ 防府市市民活動支援センター ☎0835-38-4422



山口歴史発見！こねえな話、知つちよる？

萩往還を歩く

問合わせ

広報広聴課 ☎083-934-2753

松前了嗣

歴史発見

すぜんじ 鑄銭司

人口:2677人 (H27.7.31時点) 市内南部に位置し、かつてはその名のとおりに銭貨を鑄造する司(役所)があった。また、積水ハウスの工場や鑄銭司団地など、企業が多い地域でもある。



何かを考え込んでいるコミカルな「蔵六人形」。鑄銭司出身者は成人を記念して、自治会からこれを贈られる。モデルは鑄銭司が生んだ明治維新の先覚者、村田蔵六。後の大村益次郎である。「鑄銭司自治会たより」「すぜんじセンターだより」「鑄銭司パトロール隊」など、鑄銭司地域の広報紙や案内看板には、さまざまな大村益次郎が尊敬と親しみを込めて描かれている。彼は鑄銭司の地域づくりになくてはならない存在だ。

郷土の偉人を伝える

郷土の偉人を地域の子どもたちに知ってもらいたい。なによりも、彼が持っていた思いやりの心を伝えたいと、70〜80代の地域住民8人が立ちあげたのが、「大村益次郎の紙芝居をつくらう会」である。18枚からなる紙芝居と上演用の木製舞台を、半年かけて全て自分たちでつくりあげたのだ。平成24年に大村神社の春季例祭で初

上演されたこの紙芝居は、地域交流センターや高齢者施設、地域のお祭りなどを中心に、延べ30回近く上演されてきた。今では鑄銭司小学校6年生の社会科の授業に、この紙芝居が組み込まれている。鑄銭司地域の子どもたち全員が、大村益次郎を学び、こ



さらに、そんな子どもたちの中から有志5人が作成したのが、昨年11月から大村神社の石段の側に設置された大村益次郎の墓所案内板である。彼らは、大村益次郎の生涯を徹底的に学習し、墓所までのルートや周辺情報を取材。その後、4日間をかけて、縦横1m以上の大作を完成させた。このとき前述の「大村益次郎の紙芝居をつくらう会」のメンバーがサポートにあたったという。



大村益次郎という地域のブランドが世代と世代を結び、受け継がれている。そして成人の節目に、「蔵六人形」を受け取ることで、子どもも頃学んだ彼の思いやりの心を再確認するのである。



Aijisu

Suzenji

「山口きらら博」に合わせ、多目的タームや駐車場などを県が整備した。また、博覧会の後は、サッカーラグビー場や水泳プールが増設され、平成23年には山口国体が行われた。小郡阿知須道路や宇部山



公園内の太陽の丘からジャンボリー会場を望む

あじす 阿知須

人口:9541人 (H27.7.31時点) 本市の最西端で、宇部市と接し、山口湾に面する。山口きらら博記念公園は、宇部空港や新山口駅にも近いという利点を生かし、大規模なイベントが多く開催されている。

イベントの度、都市が生まれる

今年8月、山口きらら博記念公園が若者の活気で溢れた。7月28日から12日間行われた「世界スカウトジャンボリー」には155の国と地域からボーイスカウトが、8月22日・23日には野外コンサート「ワイルドバンチフェス」が行われるなど、一つの若者の都市が生まれ、周辺へ波及した経済効果は計り知れない。



阿知須からは生まれた食材を使い地元の特産品にしようという試みが活発化している。くりまざるはその甘さを売りに、ソフトクリームやロッケ、まんじゅうなどに商品化し、道の駅きららあじすやイベントなどで販売している。またノルディックウォーキングフォーラムの参加者にかかるまうスイーツが、地元醸造工場や洋菓子店との合作で生まれた。阿知須は広大な施設を活用し、さまざまなイベントや商品を生み、交流の拠点として発展し続けている。



一の坂一里塚。萩往還の中間地点。当時、長州藩の里程の計算法は、1間が6尺5寸じゃったようです。

皆さん、こんにちは。松前了嗣でございます。現在、3年後の「明治維新150年」を前に、市内各地では、幕末維新に関するさまざまなイベントが開かれ、市内の史跡にも多くの方々を訪れております。こうした中、最近、注目をあびている史跡、それが「萩往還」であります。さあ、それでは今回も、前回に引き続きまして、歴史の道、萩往還についてお話しすることになりました。

萩往還の基点であります萩唐樋札場から、1里ごとに置かれたのが、一里塚であります。

全長約53km(約12里)の間に、全部で11カ所設置され、そのうち市内に置

往時に思いを馳せながら②

かれていたのは、一の坂、木町、水上、鳴滝、鯖山埜下の5カ所でありました。しかし、その一里塚も、元治元年(1864)2月、藩命により取り払われ、その跡に常緑樹が植えられることになりました。

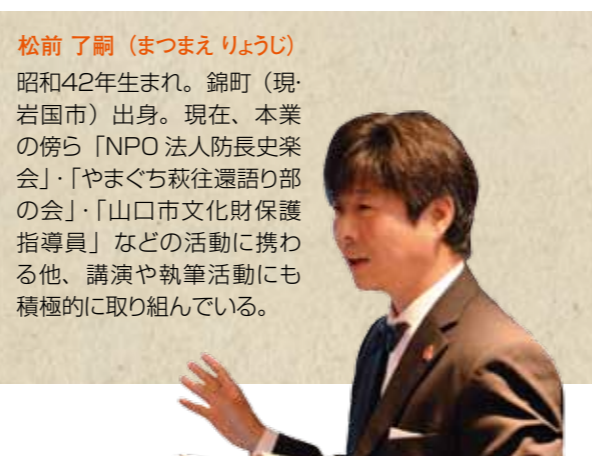
現在、市内の萩往還には、復元整備された一の坂一里塚を見ることができ、時代を経た今でも、その姿をよく留めているのが、お隣の萩市にあります。上長瀬一里塚です。そして、萩往還ではございませんが、陶の県動物愛護センター近くにある陶埜下一里塚も、長年の風雪に耐え、今もはずかに1里を刻んでいます。

それから、一里塚の一般的な形状ですが、組まれた石の上には塚木が立てられ、そこには、「従萩唐樋札場六里従三田尻船場六里」というように、萩と三田尻、それぞれの場所から現在地までの距離が記されておりまして。

「ほう、半分まで来たかあ。だいぶ歩いたもんじゃのう」この塚の前にたたずむと、わたしの紐を締め直しながら、汗をぬぐう先人たちの姿が浮かんできます。



駕籠建場は、藩主一行が領内を通行する際に休息する施設で、比較の見晴らしの良い場所が選ばれました。この街道には、6カ所ほど置かれ



松前了嗣(まつまえりょうじ) 昭和42年生まれ。錦町(現・岩国市)出身。現在、本業の傍ら「NPO法人防長史楽会」・「やまぐち萩往還語り部の会」・「山口市文化財保護指導員」などの活動に携わる他、講演や執筆活動にも積極的に取り組んでいる。

その内、市内には、一の坂(六軒茶屋跡)、柵、鯖山埜の3カ所に設置されました。現在、一の坂にありますが六軒茶屋跡には、休憩所が建てられています。かつて、ここには数件の民家があり、そのうちの軒には、藩主が休憩する場所として、一段高い4畳半の部屋、御座の間が作られていました。そして、その周りの民家も、重臣や下級武士の休憩所として使われたそうです。今、この周辺の山々には樹木が生い茂っていますが、以前はこの場所から、山口の町が一望できたのかもしれない。

「おお、山口の町じゃ。こりゃあ何とええ景色じゃのう...」毛利の殿様も、この場所でお茶を飲みながら、旅の疲れを癒したことであります。

さあ、皆さんもぜひ、往時に思いを馳せながら、この街道を歩いてみませんか？きっと新たな発見があるはずですよ。

9月 イベント 10月 カレンダー




第2回景観写真
コンテストから
「一の坂川燃える」

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)	2 (水)	企画展「毛利公と菜香亭」 (~11月8日) (大殿) 山口市菜香亭 (☎ 083-934-3312)	26 (土)	きららノルディックウォーキングフォーラム (阿知須) 事務局 (☎ 0836-65-2022)
	YCAM OPEN LAB ThinkThings - 「もの」と「あそび」の生態系 (~27日) (白石) 山口情報芸術センター[YCAM] (☎ 083-901-2222)	6 (日)	市民体育大会 (吉敷・大内) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)	27 (日)	道の駅「長門峡」フルーツ祭り (阿東) 道の駅長門峡 (☎ 083-955-0777)
		12 (土)	救急フェア in 維新公園 (吉敷) 中央消防署 (☎ 083-933-0119)	30 (水)	企画展Ⅱ「中世の住んだ町 -新宿」(~平成28年4月 17日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)
	特別企画展「萩原朝太郎と 中原中也」(~27日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)	13 (日)	ぐるっと山口 道の駅特産市 (~13日) (仁保) 農林政策課 (☎ 083-934-2815)	10/3 (土)	山口市誕生10周年記念フェ スティバル (白石) 総務課 (☎ 083-934-2908)
	企画展「維新前夜~近世山口 の文化力」(~10月28日) (白石) 歴史民俗資料館 (☎ 083-924-7001)		ふしの川漁協まつり (平川) 榎野川漁業協同組合 (☎ 083-922-3537)	10/4 (日)	新山口ゆめフェスタ (小郡) 実行委員会 (☎ 083-973-4274)
	狐の足あとギャラリー 「大自然が語りかける"生"」 (~10月31日) (湯田) 狐の足あと (☎ 083-921-8818)	20 (日)	山口ゆらめき回廊 (~21日) (大殿) 大路ロビー (☎ 083-920-9220)		 レノファ山口FC 県内の試合日程  <ul style="list-style-type: none"> 9月13日(日) 18時から維新公園 VS カターレ富山(富山県) 9月27日(日) 13時から維新公園 VS Y.S.C.C.横浜(神奈川県) ※試合観戦には入場料が必要です。 問レノファ山口FC ☎ 083-941-6792
	企画展「鑄銭司発掘50年」 (~平成28年2月21日) (鑄銭司) 鑄銭司郷土館 (☎ 083-986-2368)		アートふるリバーナイト (大殿) 実行委員会 (☎ 083-920-9220)		

山口市長 渡辺純心



おしたへ
トライ
敬老の日、
やまぐち路傍塾

今年の夏は猛烈な暑さが続きましたが、少しずつ秋の気配を感じてまいりました。

さて今月21日は「敬老の日」です。長年、社会に尽くされた高齢者の皆様に敬愛し、長寿を祝うことを趣旨として制定されたものです。

今日の豊かな日本がありますのも、高齢者の皆様が、一生懸命にがんばっていただいたお陰です。心から感謝を申し上げます。

本市では、地域の教育力を高めるボランティア人材バンクとして「やまぐち路傍塾」を立ち上げ、高齢者の皆様のみならず、広く市民の皆様がお持ちの力を発揮していただき、学校教育

や市民の生涯学習の場で、講師等として御活躍をいただいています。

とりわけ、豊かな知識やさまざまな技能を身に付けておられます高齢者の皆様には、この取り組みに積極的な御協力をいただきたいと思っております。

今後とも、世代を超えた交流の中で、まちが活性化していく取り組みを進めてまいりたいと考えています。

まだまだ暑い日が続きますが、御自愛ください。